

①個別データシート

種類 加工

英名 fiber processing

整理番号: JP207017

分類 繊維工業品

和名 製糸(s)プロセス

・GHG排出量 9.08E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 ポリエステル・ステープルの製造加工

・技術の内容と機能 繊維用ポリエステルチップを原料としたポリエステル・ステープルの製造加工

前提: ポリエステル(s)の製造工程を対象としている。

代表企業の実績を吟味した業界代表値。

* 入力の水量の5%が飛散するとして、排水処理は入力水量の95%としている。

繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター),(2003), 資料編 p20
資料12 ①ポリエステル・ステープルの製造

・データ作成者コメント

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 資料編”,12,(2003),
p20, ①ポリエステル・ステープルの製造 に掲載されている入出力データを引用し、原材料の入力を除外して製糸加工プロセスの原単位を作成した。

・適用範囲

ポリエステル繊維用チップを原料としたポリエステルステープルの製造加工工程を対象としており、日本の代表企業の実績を吟味した業界代表値である。

・システム境界

製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含む。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、熱エネルギー、C重油(C重油)由来のCO2(化石資源由来)、工業排水処理サービス(工業排水処理)由来のCO2(化石資源由来)、熱エネルギー、一般炭(石炭)由来のCO2(化石資源由来)、電力、系統電力(公共電力)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	公共電力	電力,公共	JP120001	2.72E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水	工業用水道	JP323002	1.40E-01	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	C重油	燃焼・C重油	JP111022	7.70E-02	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	LPG	燃焼・LPG	JP111025	5.00E-03	kg	
ユーティリティ	中間フロー	入力	オイルコークス	燃焼・オイルコークス	JP111028	1.40E-02	kg	
ユーティリティ	中間フロー	入力	石炭	燃焼・一般炭	JP111035	8.20E-02	kg	
廃棄物処理	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理		1.33E-01	m3	
廃棄物処理	中間フロー	入力	産廃処理(燃え殻)	産廃処理(燃え殻)		8.20E-03	kg	
水圏排出物	基本フロー	出力	COD			4.00E-03	kg	
製品	中間フロー	出力	製系(s)プロセス	製系(s)プロセス	JP207017	1.00E+00	kg	